

笑顔の写真で街を彩り、元気を発信しようというイベント「メリー・イン・サッポロ」が、札幌市中央区の札幌パルコや三越札幌店などが並ぶ四番街商店街で5月に計画されている。震災後の神戸などで街を元気付けてきたイベントで、同商店街は「不況や天災続きの北海道を札幌から活気付けたい」と意気込んでいる。

5月にイベント計画

「メリー(merry)」は「幸せ」や「楽しさ」などの意味。企画した東京都のアートディレクター水谷孝次さん(52)が、街角で「あなたにとつてのメリーは？」と質問して笑顔を撮影。本人のメッセージを添えた作品を大型ポスターにしてビル壁に張り出し、大画面に映し出したりして街を笑顔だらけにする計画だ。合わせて写真やイベントの趣旨を印刷した紙をゴミ袋で包んで全道に配布。5万人を目標に参加者を募り、「ごみの日」の5月30日にごみ拾いをして「街を

メリーにして締めくくるといふ。

「メリー」は水谷さんが4年前、苦境にある街を「笑顔の持つ力で元気付けよう」と企画し、震災後の神戸(02年)や同時多発テロ後のニューヨーク(同)、不況に苦しむ東京(03年)などで約1万人を撮影。各地で様々なイベントを開いてきた。今回は同商店街が水谷さんに呼びかけて実現した。

水谷さんは「苦しいところがあるほど笑顔は生き生きしてくるし、元気をもたらしてくれる。メリーを北海道に広げていき

札幌の街笑顔満開に

「メリー」な気分あふれる元氣



©朝日新聞社 2004年
 発行所：札幌市中央区北2条西1丁目1番地 〒060-8602
 朝日新聞北海道支社
 電話 011-281-2131



たい」と話している。問い合わせはメリー・イン・サッポロ・プロジェクトへ。

エクト推進チーム(011-231-5841)

笑顔の写真を印刷した紙を見せてイベント「メリー・イン・サッポロ」を説明するアートディレクターの水谷孝次さん(右) 札幌市役所で